

13. JJ1017 放射線標準マスタへの挑戦

山形県立新庄病院

○三浦 勝 後藤 美咲 松田 智宏 榎本 晃二 神尾 昌克 瀬野 昌文

山形県立中央病院

工藤 美里

山形県立病院放射線マスタ統一ワーキンググループ

【目的】

- ・一般撮影系 JJ1017 化で作成の合致割合を評価する。
- ・作成傾向を把握し構築ポイントを整理する。
- ・他モダリティ用に JJ1017 構築上のルールを導く。

【検討コード】

一般撮影、乳房撮影、ポータブル撮影、手術室ポータブル撮影

【方法】

- ・簡易ツールを使用し、自由にコード作成をしてもらう。
※ただし、頻用コードがある場合は頻用コードを優先とする。
- ・技師 6 人の 2 チーム分が作成した JJ1017 コードの校閲作業を行う。
- ・採用コードを選別し、コードの重複等、エラーを検索する。

【結果】

- ・グループごとのコード合致率はトータル 37%であった。(グループごとではそれぞれ 35%及び 39%)
- ・コードの作成エラーで、作成ツール誤使用が多く見受けられた。
- ・コードの内容を確認するため、作成した JJ1017 コードを再度日本語変換する必要があった。

【考察・まとめ】

- ・撮影の方法を反映するより、オーダ名称に忠実なコード作成することで統一感がでた。
- ・作成ツールでコードを作成後、日本語に再変換することで単純な作成ミスを発見することができた。
- ・最終的なコード確認をするにも、日本語にすることでエラーを発見しやすかった。
- ・各人のコード作成方法による特徴から、他マスタの JJ1017 化で参考となる作成時規則が発見できた。

《作成ポイント》

- ・マスタ名称に対して忠実に作成する。
- ・JJ1017 コード作成後は日本語変換して確認する。
- ・方向や体位の選択時に注意が必要。

『参考』山形県立病院放射線マスタ統一ワーキンググループ

次期総合医療情報システムの更新に併せた統合化（システムの統一化および業務の集約化）の実現に向けた各種課題の検討を行うため、統合化検討ワーキンググループ（以下「WG」という。）を設置する。

- <メンバー>○県立病院課 倉橋（他約 2 名） ○中央病院 今野（他 4 名 情報企画係含む）
○河北病院 浦山（他 2 名 情報企画係含む） ○新庄病院 三浦（他 3 名 情報企画係含む）
○こころの医療センター 神尾（新庄と兼務及び情報企画係）